東京調査業協同組合
〒165 - 0034 東京都中野区大和町3 - 7 - 3・2F
電話: (03) 5364 - 5151
https://www.tokyo-tantei.jp/

TICS
Tokyo Investigation Cooperative Society

TICS通信

No. 030305
令和3年春季号
550円（税込）

変貌する社会に対応するには。

緊急事態から学んだもの

「二つの災禍」

本年３月１１日に東日本大震災から１０年。改めて震災で犠牲になりました方々とご遺族の方々に哀悼の意を表します。

当組合は被災地の惨状を知り、以前から親交のあった岩手県陸前高田市に延べ６ｔの救援物資をお届けさせて頂きました。

今やコロナウィルスによる被害は死者数が９２８０名を超え東日本大震災の死者行方不明者数１８４２５名の５０．３％にも及んでいます。震災の衝撃的な映像は、人々が自粛に向けた心理作用を働かせ被災回避の意識が高まりました。これに対してコロナの場合は可視化が困難な為、迫る脅威と予防（被災回避）の効果を実感しづらいことが意識の高まりを生めない大きな要因とも考えられます。

勿論２つの災禍を単純に比べることはできませんが短期に甚大な被害を及ぼす脅威と長期的に被害を拡大させる脅威との違いこそあれど、いずれも重度な未曽有の災害であることに変わりはありません。

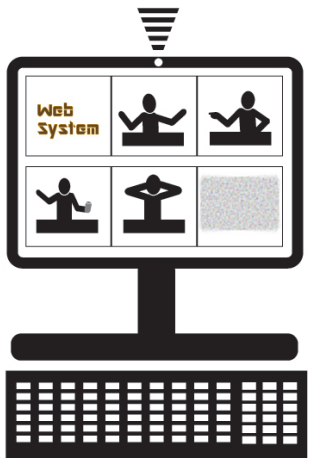
第１波の被害が甚大だった東日本大震災に対して第２波以降の被害が拡大し続けているCOVID-19

災害に対する適切な恐怖心を持つことにより意識を高めることが今私たちに求められていることなのではないでしょうか。

コロナによる社会変貌

コロナの影響で大きな変化が顕著に表れたのはコミュニケーションのあり方です。非接触による意思疎通の機会が増え、これまでの価値観も急速に変貌しました。価値観の変化は人の行動を変え、ますます多様性が認められる社会になるでしょう。そして周囲の変化に翻弄されず軸がぶれない自分らしさを見つけられた人が充実した日々を送れるようになるのだと感じます。

オンライン化の加速



コロナ感染拡大防止の観点から非接触業務が増え、ビジネスシーンではオンライン会議等でコミュニケーションの難しさが改めて露呈している。
対人関係にも新たな形を模索する時代が訪れるのでしょう。

コロナ後の調査業のつとめ

調査業はリスク回避とトラブル解決の専門家として現状や原因を調べることによりその役割を果たしています。この1年で社会のあり方が激変しましたが、社会活動がある限りトラブルが無くなることはありません。

多様な価値観が認められる社会においては価値観の数だけ紛争が起こり得るリスクが潜在しているのです。

昨今の新たな弊害は、コミュニケーション不足を原因とした認識の齟齬です。このようなトラブルは非接触の環境では認識の一致に至ることは難しく、深刻な場合、契約を締結してから齟齬に気付き訴訟まで発展するケースもあります。

コロナ後には、人それぞれが持つ価値観を一層尊重し理解していくことが重要であり、リスク回避やトラブル解決の鍵となるでしょう。

私たち調査業も真価を問われる時を迎えました。こうした次代を見据えた体制の整備が喫緊の課題であり、将来的に誰もが安心・安全を享受できる社会形成に寄与できるものと信じております。今後も未来に繋ぐ調査活動を展開することにつとめて参ります。

新サービスのご紹介

本年 3 月より法人様向けの新サービスとして「プロチェックパートナーズ」キャンペーン価格にてご提供しています。
本サービスは人事労務問題や契約トラブルに関する基本調査サービスです。
お気軽にお問合せ下さい。

【お問合せ先】
東京調査業協同組合
03-5364-5151